

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/04/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.05	0.21
JPY/THB	0.2393	0.0011
USD/JPY	154.85	0.21
EUR/THB	39.47	0.22
EUR/USD	1.0655	-0.0001
USD/CNH	7.251	0.000
SGD/THB	27.21	0.16
AUD/THB	23.90	0.26
USD/INR	83.37	-0.10
USD Index	106.08	-0.08

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.508	0.017
10Y (THB)	2.720	0.001
5Y (USD)	4.650	-0.020
10Y (USD)	4.609	-0.012

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,332.2	-66.2
WTI (Oil)	82.85	-0.29
Copper	9,829.5	-46.5

Stock

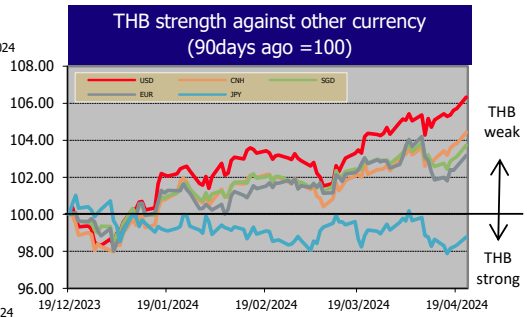
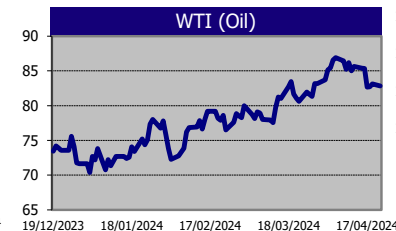
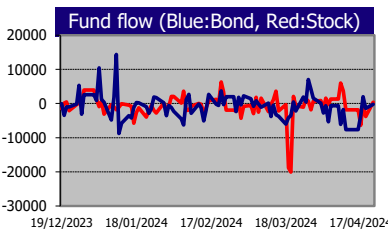
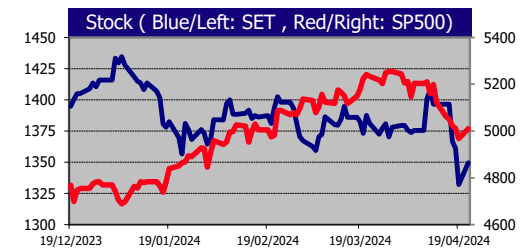
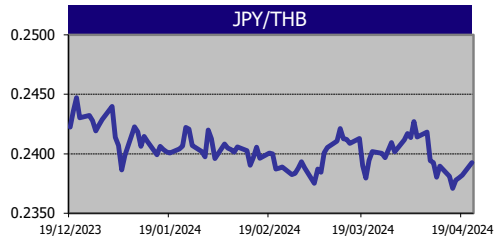
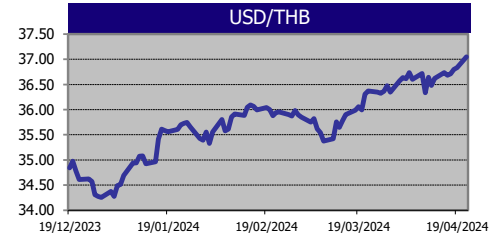
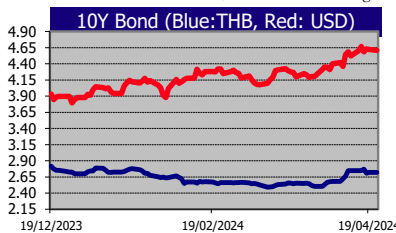
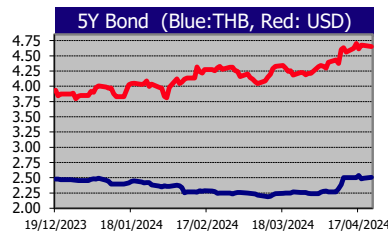
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,349.52	17.44
NIKKEI (JP)	37,438.61	370.26
DOW (US)	38,239.98	253.58
S&P500 (US)	5,010.60	43.37
SHCOMP (CN)	3,044.60	-20.67
DAX(GER)	17,860.80	123.44

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	372	4140.3
Bond net flow	(208)	1202.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。36パーツ台後半で取引を開始。引き続き米利下げ観測の後退、及び相対的に高い米金利がアジア通貨を圧迫する展開となり、ドルパーツも上昇。バンコク時間午後には昨年10月以来となる37パーツ台に乗せた。以降、海外時間にはタイ中銀副総裁から「見通しがシフトし、構造的な障害が潜在成長率を低下させる場合には再調整される可能性がある」旨の発言が確認される中、37パーツ台前半での推移が継続。そのまま37.05レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。154円台後半で取引を開始。特段材料ない中ではあるものの、金利差が意識されたか、やや円売り優勢の地合いが継続。海外時間以降もじりじりと上昇を続け、154.85レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、ドルパーツは昨年10月以来となる37パーツ台に乗せた。足もとの上昇局面のきっかけとなったのは前月12日に発表された米2月CPIであるが、同指標発表後のパーツの対ドルでの下落率は約4%となっており、他のアジア通貨と比べてパフォーマンスの低さが目立つ。その大きな要因のひとつとして考えられるのが相対的に低いタイの金利水準であり、ドルパーツ相場を見通す上で内外の金融政策の動向・見通しがより重要な局面となっている。かかる中、昨日タイ中銀副総裁から「金融政策の再調整の可能性」について言及された。今月10日の金利据え置きを決定したタイ中銀による金融政策委員会後の会見では「政府と中銀では金融政策決定するために重きを置いている要因が異なっているのではないか」といった旨の発言があったことから考えると、やや発言の方向性が変わっていることが印象的であったと言える。これを以てタイ中銀のスタンスの大きな変更を想起させることはなかろうが、今月末から来月初にかけて開催されるFOMCにおいて、大きなスタンスの変更がなければ、パーツの軟調な地合いはしばらく続くと考えている。(末廣)